

「食育」読み聞かせ資料

ちよこつと食通信



掲示用

No.240 令和5年11月発行

すけ とちぎのうぎょうこうこう
とち介ランチと栃木農業高校のコラボレーション

11月 日()

きょう 今日、栃木農業高校で牛を育てている3年生の星野圭那さんにお話を聞きました。

牛は、それぞれ、性格が全然違って、その子に合わせた対応が必要だそうです。例えば牛の体重測定をする時に、嫌がらないように引いてあげるための、その子に合わせた引き方があって、前から引く、後ろに立つなどその子の特性を見極めているそうです。自分の足を踏まれたり、蹴られたりしないようにも気をつけているとも言っていました。

でも、最初は慣れていない牛が、接するうちに慣れてきて、「かまって、かまって」と寄ってくるようになった時がかわいくて嬉しいそうです。

星野さんから「私も高校に入って、初めて牛を育てる苦労を体感しました。愛情を込めて育てた牛を、おいしく食べて欲しいです。」とメッセージをいただきました。

今日のとち介ランチは、他にも栃木農業高校で育てたもち麦、栃木市産のぶどうのジャム、トマトのソース、もやしを使っています。

育ててくださった方々に、感謝しながらいただきます。



栃木農業高校の生徒が育てた牛



栃木農業高校の生徒がもち麦の収穫をしているところ